

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組みます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は佐賀県学力学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題の調査となっています。

## 1 児童の実態

### (1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数		理科	
	5年時	6年時	5年時	6年時	5年時	6年時
H29 入学 現 6 年生	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	全国 (4月)
	68.0	72	48.9	60		71
	(1.16)	(1.12)	(1.15)	(0.96)		(1.14)
	R4 正答率の全国比	1.09		0.94		1.12

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段( )は県平均を1としての比較。

◎「令和4年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

### (2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

- 「国語」「理科」は平均正答率が県・全国を上回った。
- 「算数」で課題が見られた領域は「図形」「変化と関係」である。特に「変化と関係」は県を10.7ポイント、全国を12.4ポイント下回っており、第5学年での学習「割合」について系統的な指導の工夫が必要である。
- 「国語」は平均正答率が全国とは同等だが、県を4.7ポイント下回っており、「我が国の言語文化に関する事項」に課題が見られた。
- 地域とのつながりが強い地域性であるにもかかわらず、「地域社会をよくするために何をすべきか考える」の肯定的回答が20%であり、県・全国と比較しても低い。

## 2 改善に向けた具体的な取組

### (1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- 各教科とも、正答数に個人差が見られたことから、個に応じた指導の工夫が必要である。
- 算数科では、算数用語、図、式を使って自分の考えをノートに書く指導を継続していく。特に、算数用語や図の書き方の確実な習得と、それらを的確に使う表現し分かりやすく伝える方法を身に付けさせるようにする。
- プログラミング的思考の育成のため、朝のタブレットタイムにおいてタイピングやドリル以外の活用方法を全学年で共有して取り組む。

### (2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- サマースクール(8月23、24日)を開催し、夏休みの課題の補充指導を行う。
- 家庭学習強化週間を年2回(9月、11月)設定し、家庭学習の定着を図るとともに、家庭の教育力の向上を目指す。
- 地域と関わる教育活動(総合的な学習の時間、社会科など)の充実に努める。